



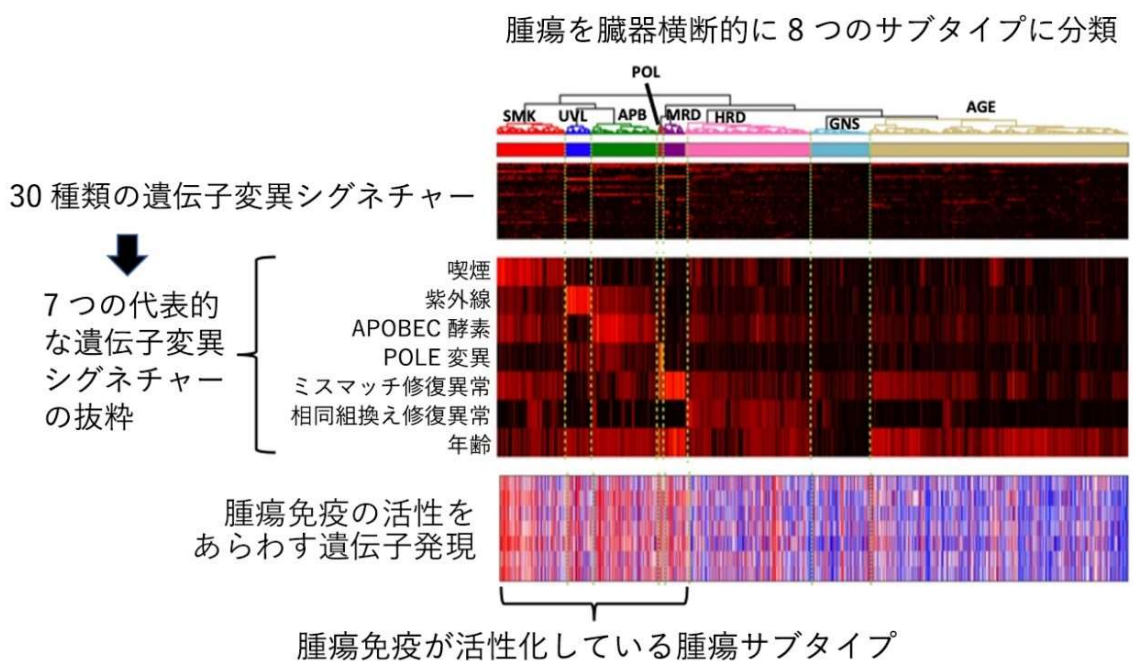
あらゆる固形がんを8種に分類するプログラムを開発 がん治療薬である免疫チェックポイント阻害剤の効果を事前予測

キーワード

がん、ゲノム、遺伝子変異、免疫チェックポイント阻害剤

【研究内容の概要】

約1万症例の固形がんのDNAデータから遺伝子変異の特徴を解析し、あらゆる固形がんを8種に分類する新たなプログラム「GS-PRACTICE」を開発しました。さらに、免疫チェックポイント阻害剤による治療を受けた固形がん患者のデータを解析し、この分類によって、免疫チェックポイント阻害剤の有効性を予測できることを証明しました。



特徴/効果	<p>全エクソンシーケンスにより、固形がんを臓器横断的に8種類に分類；</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子変異のパターン(遺伝子変異シグネチャー)に基づく ・腫瘍免疫活性および免疫チェックポイント阻害剤の効果と関連 ・機械学習によって、新たな腫瘍が8種類のうちどれに属するかを診断
利用/用途	<ul style="list-style-type: none"> ・病理診断のために臨床で用いられるFFPE検体から抽出したDNAを用いて診断可能 ・どの患者に免疫チェックポイント阻害剤を用いるべきか予測できる ・個々のがんの生物学的な背景を明らかにできる

知的財産権等情報		医学部 医学科	松村 謙臣
特許出願	特開2024-052653	URL	研究詳細; https://www.kindai.ac.jp/news-pr/news-release/2022/07/036267.html
論文等	1編		

連絡先：近畿大学 リエゾンセンター(KLG)

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL：06-4307-3099 FAX：06-6721-2356

E-mail：klc@kindai.ac.jp
URL：http://www.kindai.ac.jp/liaison/